

平成29年度 施策評価シート

[ 施策No. ] 施策名		[ 49 ] 食の安全の向上			主管	健康部 生活衛生課
施策の概要	長期総合計画体系	[ 将来像 ] Ⅲ 暮らしやすいまち [ 基本目標 ] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり [ 小 柱 ] (3) 安全で健康な生活環境の確保				
	10年後のめざす姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食品衛生の監視指導・情報提供が徹底され、区・事業者・区民が情報を共有することで、一層の食の安全が図られています。</li> <li>● 事業者の自主的な衛生管理への取り組みが促進され、各事業者の衛生水準が向上しています。</li> <li>● 食の安全を確保するため、区民自らが判断して食品を選択できる環境づくりが進められています。</li> </ul>				
	主な取り組み	① 監視指導の徹底	⑥			
		② 事業者の自主管理への取り組み支援	⑦			
		③ 区民自らが判断できる環境づくり	⑧			
		④ 情報提供と意見交換	⑨			
⑤		⑩				
* 施策を構成する行政計画事業の進捗は、裏面「行政計画事業」を参照。						
施策の執行状況	施策の指標	指標名	計画策定時 (26年度末)	目 標 (36年度末)	27年度	28年度
		食中毒発生割合 (区発生件数/都発生件数)	2% (25年)	減 少	7.4%	6.6%
		消費者の食品安全知識習得率	66% (25年度)	増 加	68.4%	41.7%
評価結果	B	(施策の指標の実績、構成する行政計画事業の進捗・成果・課題等を踏まえて評価)				
	A 順調である B 一部課題がある C 課題がある	<p>監視指導の徹底について、食の安全を確保するため、食品取扱施設への重点監視施設一斉監視や、事業者から収去した食品の検査を行っており、概ね行政計画どおりに実施している。事業者の自主管理への取り組み支援としての自主管理認証説明会や、区民自らが判断できる環境づくりにかかる消費者・事業者講習会等の実施回数は計画事業の目標を概ね達成している。一方で、施策の指標については、28年度は前年比でやや改善したものの食中毒発生割合は大きく減少しておらず、消費者の食品安全知識習得率についても増加していない状況である。食中毒については、法規制のない鶏肉類の生食や、ノロウイルスが約8割を占めており、これらの対策が課題である。また、消費者の食品安全知識習得については、食品安全情報の提供方法を検証するとともに、区民自らが食の安全に関する情報を選択できる力を育む環境づくりを進める必要がある。</p>				
学識経験者からの意見		<p>食の安全について、食品衛生の監視指導・情報提供の徹底により、区・事業者・区民が情報共有できるよう取り組んでいる。 しかし、消費者の食品安全知識習得率は、低下しており、また、事業者を対象とした自主管理認証説明会の参加者数も減少しているため、しっかりと検討してもらいたい。</p>				

施策を構成する行政計画事業の進捗								
	(事業No.) 行政計画事業名	所管課	現況 (26年度末)	計画事業量	年度別 事業計画	27年度	28年度	29年度 (見込み)
1	(156)食品衛生監視指導等	生活衛生課	重点監視施設一斉監視 25回	年25回	目標	25回	25回	25回
					実績	24回	25回	25回
		生活衛生課	自主管理認証説明会 1回	年1回	目標	1回	1回	1回
					実績	1回	1回	1回
					目標			
			実績					
2	(157)食品等の検査	生活衛生課	年間収去検査検体数 800検体	年800検体	目標	800検体	800検体	800検体
					実績	740検体	822検体	800検体
					目標			
					実績			
					目標			
3	(158)食品安全情報の提供	生活衛生課	消費者講習会 40回	年40回	目標	40回	40回	40回
					実績	37回	41回	40回
		生活衛生課	事業者講習会 40回	年40回	目標	40回	40回	40回
					実績	54回	58回	40回
		生活衛生課	意見交換会 3回	年3回	目標	3回	3回	3回
実績	3回				3回	3回		
			目標					
			実績					
4					目標			
					実績			
					目標			
					実績			
					目標			
			実績					